

令和7年度使用 中学校用教科用図書の調査研究資料 教科（ 社会 ）種目（ 地理・歴史・公民 ）

調査項目	着眼点	調査の方法
1 学習指導要領 (平成29年告示)	(1)資質・能力の三つの柱(「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養)をバランスよく育成	・「知識及び技能」を習得することができるようにするための内容は、どのように示されているか。 ・資質・能力の育成に向けて働かせる地理的な見方・考え方は、どのように扱われているか。 ・「学びに向かう力・人間性等」を涵養するために、持続可能な社会づくりに向かう社会参画については、どのように示されているか。
	(2)各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	・各学年及び各教科等との関連、系統性は、どのように示されているか。
	(3)主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	・主体的・対話的で深い学びの視点から課題解決的な学習に取り組むための構成はどのようなものであるか。 ・深い学びを実現するための対話的な活動は、どのように示されているか。
2 第4次岐阜県教育振興基本計画 (令和6年3月策定) [2024(R6)年度～2028(R10)年度]	(1)「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	・学びを広げ深めていくことができる内容は、どのように示されているか。
	(2)生徒の学習改善や教職員の指導改善につながる学習評価	・生徒の学習改善や教職員の指導改善につながる学習評価は、どのように示されているか。
	(3)ICTを活用した学習活動	・ICT機器を活用した学習活動は、どのように示されているか。
3 印刷・製本等	(1)教科書の厚み、重量	・教科書の総ページ数、重量はどのようなものであるか。
	(2)文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	・生徒が読みやすいものとするために文字やレイアウト等は、どのようなものであるか。
	(3)上記以外の使用上の便宜	・目次、索引、注、凡例、巻末資料等は、どのような特徴があるか。